

令和5年度 学校経営の全体構想

可児市立桜ヶ丘小学校

【可児市の教育】

一人一人の今の笑顔を、未来につなげる。未来の笑顔につながる「笑顔の“もと”」を育む。



えりやかきの“もと”

【学校の教育目標】

心豊かに
たくましく
生きる子



【めざす学校像】(笑顔の“もと”)
多様性を認め合い、自己肯定感を高めあう学校

【学校・児童の実態】

- ・自治会の活動が活発で、学校に対する関心や期待が高い地域である。
- ・明確な指示があり、解決の見通しがあれば主体的に取り組むことができる児童が多い。
- ・一方、困難に出会った時、他者に依存し、解決方法を見出そうとしない児童もいる。

【めざす児童の姿】

自分でよく考える子 仲よく励まし合う子 やりとげつくり出す子 体をきたえる子

【笑顔の“もと”を育む教育活動】

児童一人一人が失敗を恐れず、伸び伸びと学習や活動に取り組んでいる。

1期 仲間と関わり合う <組織づくり>	2期 仲間と励まし合う <活動づくり①>	3期 仲間と高め合う <活動づくり②>	4期 仲間を認め合う <成果の確認>
---------------------------	----------------------------	---------------------------	--------------------------

自ら学ぶ力の育成 【授業づくり】	豊かな人間性の育成 【仲間づくり】	よりよく生きる力の育成 【心身づくり】
<p>《学習指導部・保健指導部》</p> <p>◇協働的な学びを支える基本的学習習慣を身につけさせる。(学習の準備、家庭学習の仕方)</p> <p>◇協働的な学びを通して、学び方を知るとともに、知識・技能を習得させる。(教科指導、教科担任制の導入)</p> <p>◇ICT機器を有効に活用した授業と家庭学習を行う。(個別最適な学びの推進)</p>	<p>《生活指導部・学習指導部》</p> <p>◇仲間との関わりの中で、互いを認め合える集団をつくる。(学年・学級経営)</p> <p>◇児童との対話を通して、自治力を高める取組をつくる。(学校・学年行事・児童会活動)</p> <p>◇地域の担い手として、地域の一員として活動しようとする心や態度を醸成する。(地域活動への参加・地域学習)</p>	<p>《保健指導部・生活指導部》</p> <p>◇健やかな心身づくりをする。(SST, QUアンケート、食育体力づくり、清掃活動)</p> <p>◇安全な学校生活を送るための判断力と行動力を育成する。(健康管理、安全指導)</p> <p>◇規範意識を向上させ、適切な行動ができるようにする。(分団指導、TPOに応じた態度や行動)</p>

《全教育活動を通して》

- ・結果にこだわるのではなく、結果に至る過程(結果の出し方)にこだわる。
- ・願いを実現させるための方法と手段を指導する。
- ・困ったときの対応の仕方を教えるとともに、児童の困り感に寄り添った指導や支援をする。
- ・特別支援教育の理解を進めるとともに、児童一人一人に適切な指導と必要な支援をする。
- ・ふるさと教育を推進する。(地域を知る学習・地域で学ぶ体験活動)

【家庭・地域・他校種との連携】

- ・小学校における教育活動の積極的な情報発信
- ・幼保小中の情報の共有と教育活動の連携
- ・地域と連携した安全な登下校の見守りや諸活動
- ・PTAや地域人材の支援による豊かな体験活動
- ・コミュニティスクールへの移行

【学校経営の成果検証のための目標の指標】

- ・児童の生活アンケート
学校への適応の項目「学校は楽しい」「そう思う」R2:62.2→R3:70.7→R4:74.3→80%
遊びに関する項目「授業は楽しい」「そう思う」R2:51.9→R3:64.0→R4:76.4→80%
- ・保護者の教育アンケートや自己評価の分析
- ・学校評議員会(学校運営協議会準備委員会)の意見聴取